

## 夏の校外学習

校長 相川 保 敏

長い夏休みが終わりました。本当に暑い夏でしたが、どのように過ごされましたでしょうか。

例年9月号でご紹介しています夏休み当初の校外学習の様子をお伝えいたします。4年生は1泊2日、5・6年生は2泊3日の校外学習に出かけました。

まず、4年生はネイティブ英語講師とともに7月22・23日に「郡上の生活」に出かけました。1日目は、河川環境楽園で川の水質汚染の学習、郡上おどり体験、大滝鍾乳洞見学、夜はネイティブ英語講師による英語アクティビティと盛りだくさんな一日を過ごしました。2日目は魚つかみ、うちわ作り、うどん打ち体験とこの日も多くの体験をしました。今年は、子どもたちが「おもてなし隊」になり、英語講師陣に英語で体験や活動を紹介しました。どの場面でも子どもたちが積極的に英語で話しかけ、英会話が様々なところで聞こえました。



5年生は7月22～24日に「関西の生活」を行いました。1日目は、おおさかATCグリーンエコプラザで、地球温暖化の影響と対策について学びました。様々な企業や協会の取り組みが紹介されており、エアコンのリサイクルにより、金属・プラスチックだけでなくコンプレッサー内のフロンガスもフッ素樹脂加工のフライパンに使われていることを学びました。2日目はキッザニアで職業体験を行いました。眼鏡や食品づくり、機械修理、研究者、エンターテインメントなど様々な職業体験に意欲的に挑戦していました。英語を使って体験する職業にも全員が挑戦しました。キャリア教育とともに、英語の力を試す機会にもなりました。万博の影響で館内は比較的すいており、有意義な時間を過ごすことができたようです。3日目は、ローザンベリーでバーベキューを行いました。大変暑い中でしたが、仲間と協力して野菜を収穫・調理し、



採れたての野菜のバーベキューを満喫しました。

6年生は7月16～18日に「諏訪湖の生活」を行いました。1日目は牧場でのアイスクリーム作り、2日目は昨年度も好評であったグループ単位で農家に分散する農村体験を行いました。地元の農家の方々にご協力をいただき、野菜や果物の収穫、袋詰め、収穫したものを使った調理などグループ毎に異なる体験を行いました。3日目は、諏訪湖汽船の乗船、諏訪大社の参詣を行いました。加えて、昨年度にはなかった「諏訪湖の環境問題」についての学習体験も行いました。湖岸のごみ拾いをしていただくと地元の方に声をかけていただき、繁茂するヒシについての情報をいただきました。それぞれの地域に様々な環境問題が発生しており、その対策が急務であることが実感できました。



3学年とも仲間と一緒に、様々な体験を通して忘れられない思い出をたくさんつくとともに、皆が少しずつたくましくなって帰ってきたように感じました。来年度に向け、本年度の校外学習をしっかり見つめ、子どもたちの学びにつながる校外学習に改善していきます。